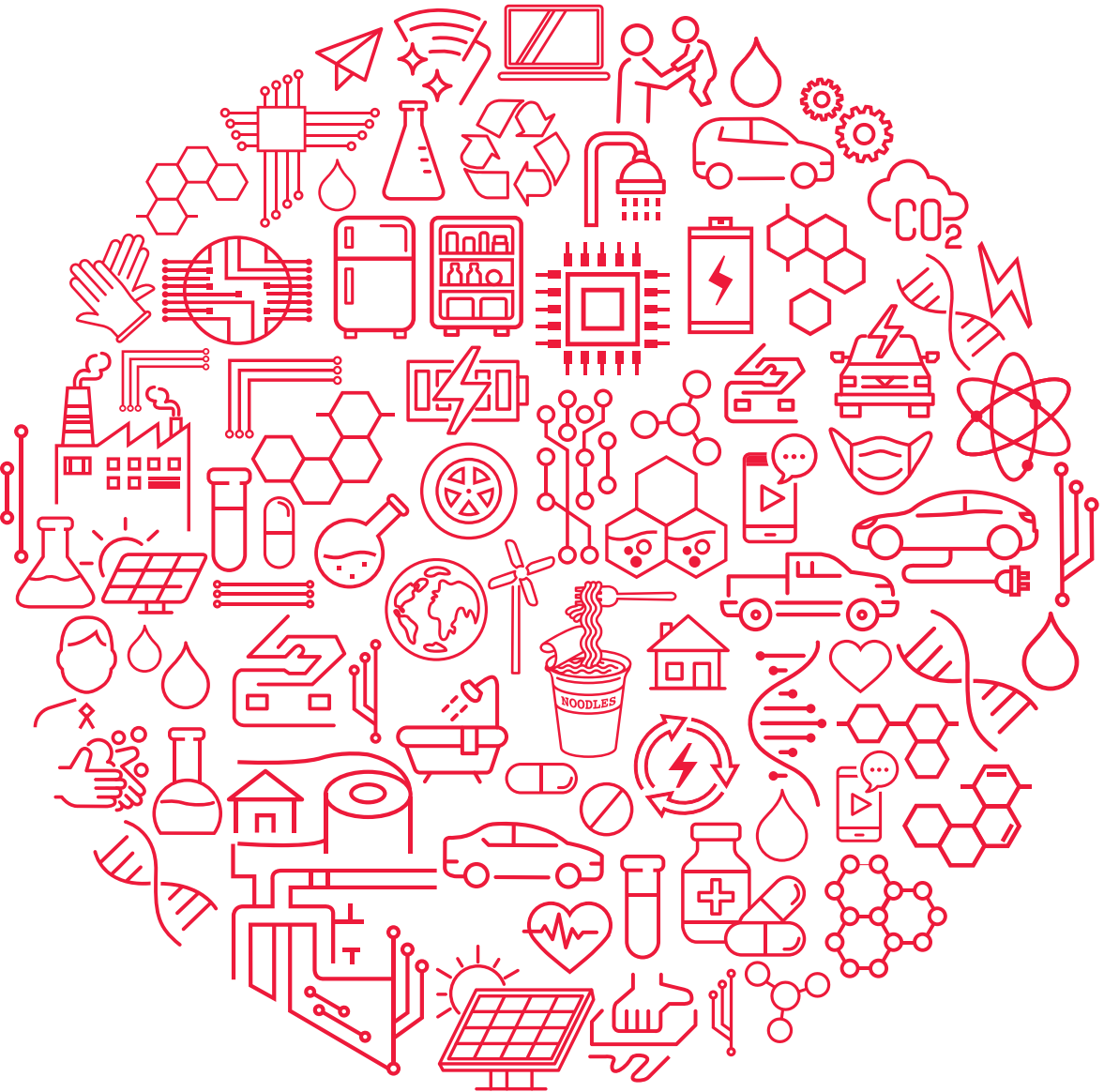


当社は、基礎原料、自動車、半導体、再生可能エネルギー、疾病検査、電池、住宅、太陽光発電、包装材、紙・パルプなど、多岐にわたる産業を支え、社会に貢献しています。本表紙では、これらの分野とそれを支える事業を、イラストで表現しました。

また、表紙をめくると「明日のしあわせを化学する」というコーポレートメッセージと、描きたい「しあわせ」を写真で表現。事業を通して、実現していきます。



会社案内



明日の しあわせを 化学する

「世の中のしあわせの輪を広げ、よりよい明日をつくりたい」

私たち東ソーは、そんな想いを胸に日々の生活を下支えし
地球環境と皆さんの健康を守り、豊かな未来に貢献するための
さまざまな製品を展開しています。

企業理念

私たちの東ソーは、化学の革新を通して、
幸せを実現し、社会に貢献する

東ソーグループCSR基本方針

- 1 事業を通じた社会の持続可能な発展への貢献
- 2 安全・安定操業の確保
- 3 自由闊達な企業風土の継承・発展
- 4 地球環境の保全
- 5 誠実な企業活動の追求



東ソーの変遷と強み

化学の革新を追求し 歩んできた90年

ソーダ工業における合理的な生産体制を目指し、創業した東ソー。副生物を有効利用することで、持続可能な社会の実現に貢献してきました。そうして90年近くの年月をかけてソーダ工業から事業の幅を広げ、化学の革新を追求し続ける中で、独自の強みを磨いてきました。

1935年

「近代的一大理想工場」を目指して

ソーダ工業における「モノとエネルギーが循環する工場」を理想に掲げ、創業者・岩瀬徳三郎が現在の山口県周南市に「東洋曹達工業」を設立。その後、臭素やセメントなどの無機化学を中心に発展を遂げる。

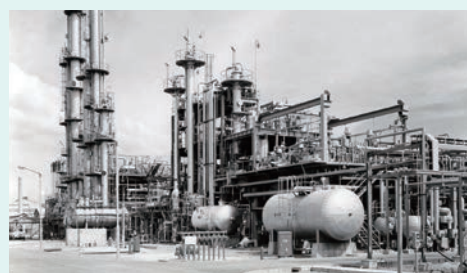


創業当時の工場

1964年～

石油化学事業に進出

塩ビモノマー製造において副生物を原料に有効利用する独自技術を開発。それは石油化学事業への進出の源となり、ポリエチレン事業などへの参入につながる。1971年には三重県四日市市への進出が決定。のちに当社と合併する新大協和石油化学のエチレンセンターを中心に、事業拡大が進む。



1966年完成の塩ビモノマープラント

1975年

鐵興社と合併、
ビニル・チェーン構築へ

合併により念願の塩化ビニル樹脂（以下、塩ビ樹脂）製造権を取得。さらに大型石炭ボイラーを建設。これこそが、塩の電気分解から塩ビモノマー、塩ビ樹脂の生産へとつながる「ビニル・チェーン」構想の起点となる。また、合併で引き継いだ一部の事業がスペシャリティ事業の多角化へとつながる。



1982年完成の大型石炭ボイラー

1971年

バイオサイエンス事業に進出

化学メーカーとして培った研究・開発部門のノウハウを生かし、TSKgel®と高速GPC装置を開発。その後、装置を含めたシステムで事業を開始。高性能製品を生み出し、バイオサイエンス事業を世界的に展開していく。



高速GPC装置 HLC®-801

1964年

ニューヨークに
初の海外拠点を開設

1987年

東ソーに社名変更

1990年

新大協和石油化学と
合併

2014年

日本ポリウレタン工業と合併、
ハイブリッド経営の深化へ

2000年代よりクロル・アルカリ、石油化学のコモディティ事業と、機能商品のスペシャリティ事業を両軸とする「ハイブリッドカンパニー」として歩み出す。また、ビニル・チェーンとイソシアネート事業の一体化戦略として確立された「ビニル・イソシアネート・チェーン」は、合併によって製品・原料の完全一貫体制を実現。



2007年完成のMDIプラント

東ソーの
強み

資源の有効利用

創業時から目指したのは、エネルギーや資源、副生物を無駄にしない生産体制。こうして当時から地球の資源を大切にしてきました。資源の有効利用によって、さまざまな製品を展開してきた当社は、高稼働率を保つことで製品の安定供給を実現し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

グローバル展開力

世界のTOSOHを目指し、約50の海外拠点を有しています。創業以来、当社を支えてきたコモディティ事業は、塩ビ事業などを中心に、成長著しいアジア圏において需要があります。一方、世界最高水準の技術を駆使したスペシャリティ事業では、欧米市場を中心にその存在感を高めています。

風通しの良い風土

幾度もの合併や時代の変化を乗り越える中で育まれてきた社員同士の絆やチャレンジ精神が、自由闊達な風土につながっています。最大の資産は「人材」であることを基本とし、ライフスタイルに応じた働き方・諸制度の導入と、利用推進に取り組んでいます。

2025年

創立90周年

2022年

カーボンニュートラル
への挑戦

東ソーグループとして“2050年に向けたカーボンニュートラルへの挑戦”を掲げ、途中段階の目標として、“2030年度までに2018年度比で30%のGHG排出量削減”を表明。省エネルギーの推進や燃料転換、CO₂の分離・回収による有効利用など、さまざまな方面からの挑戦を進めている。

3つのコア事業

コモディティと
スペシャリティの両軸で
人々の暮らしを支える

塩や石油から作られるクロル・アルカリ、石油化学事業においては、主にコモディティ製品により産業のインフラを支え、機能商品事業においては、特長的な機能を持つスペシャリティ製品によって社会課題の解決に貢献しています。

先端領域に独自の技術を切り開く

機能商品事業

有機化成品

バイオサイエンス

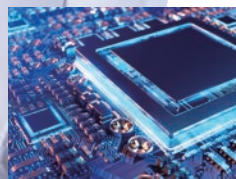
高機能材料

化学の力は、地球環境や人々の健康も守ります。エチレンアミン、環境薬剤や臭素などの独創性に富んだ製品で人々の暮らしを支え、免疫測定や遺伝子検査の試薬・装置などで人々の健康に貢献し、シリコニア、合成ゼオライト、石英ガラスなどの特長的な製品で豊かでクリーンな社会を実現しています。

Specialty Products

スペシャリティ製品

- 分離精製剤**
バイオ医薬品研究・製造用途
- 自動グリコヘモグロビン分析計**
糖尿病の検査
- 高速/高温GPC装置**
高分子の分子量・分子量分布測定
- 免疫測定装置・試薬**
ホルモン、心疾患、がんの検査など
- 自動遺伝子検査装置・試薬**
新型コロナウイルスの検査など
- ハイシリカゼオライト**
自動車用排ガス浄化触媒
- シリコニア**
歯科材料、装飾用途
- 石英ガラス**
半導体製造装置用素材
- スパッタリングターゲット**
半導体、液晶、電子部品などの成膜材料
- 電解二酸化マンガン**
アルカリ乾電池の主原料、リチウムイオン二次電池の正極材用原料
- エチレンアミン**
紙力増強剤、医薬品原料、エポキシ樹脂硬化剤(船底塗料)
- 臭素系難燃剤**
プリント基板用途
- 重金属処理剤**
飛灰・排水処理

塩に無限の可能性を見いだす
クロル・アルカリ事業

化学品

ウレタン

セメント

化学製品といえども、原料は自然の恵みである「塩」。塩を電気分解して得られる苛性ソーダはアルミニウムや紙・パルプなどの製造工程で、塩素は塩ビ樹脂や殺菌・漂白などの用途で幅広い産業で使用され、社会インフラを下支えています。さらに塩素、水素を原料にウレタン原料を生産し、ポリウレタンとして建材、自動車、家電など多くの最終製品に使用されています。また、社内外で発生する廃棄物を受け入れてセメント原料に有効利用することで、循環型社会を目指しています。

Commodity Products

コモディティ製品

- 苛性ソーダ**
アルミニウムや紙・パルプなどの製造、排水処理、繊維処理、石鹼
- 塩ビモノマー**
塩ビ樹脂の原料(パイプ、窓サッシ、床材)
- 重曹**
胃腸薬、入浴剤
- 高度さらし粉**
プール消毒
- MDI**
建材用断熱材、弾性繊維、合成皮革、自動車部品
- セメント**
建設資材

Specialty Products

スペシャリティ製品

- HDI**
塗料・接着剤の硬化剤
- TPU**
エスカレーターの手すり、ベルト、チューブ
- TSU**
工業用の小型・大型ロール

石油から可能性の種を取り出す

石油化学事業

オレフィン

ポリマー

原油から生成されるナフサを原料に、エチレン、プロピレンをはじめとした石油化学の基礎原料や、ポリエチレンや合成ゴムなどの誘導品を製造しています。多品種および小ロット対応プラントの特色を生かし、ユーザーの多様なニーズに細やかに対応したグレードラインナップを取り揃えるとともに、医療、食品、半導体分野などで製品の高付加価値化を進めています。

Commodity Products

コモディティ製品

- エチレン**
ポリエチレン、塩ビモノマーなどの原料
- プロピレン**
ポリプロピレン、キューメンなどの原料
- キューメン**
自動車部品(ポリカーボネート原料)
- EVA**
太陽電池パネル用封止材、ホットメルト接着剤
- 接着性ポリマー**
イーザービール接着剤、合わせガラス中間膜
- 低密度ポリエチレン**
包装フィルム、ラミネート、点眼容器
- 高密度ポリエチレン**
半導体薬液容器、医療用容器、耐切削手袋

Specialty Products

スペシャリティ製品

- クロロブレンゴム**
工業部品、医療用手袋、接着剤
- CSM**
工業部品、ゴムポート、エスカレーターの手すり
- PPS**
自動車部品、電気・電子部品、工業用部品
- 石油樹脂**
ゴム配合剤(タイヤ・自動車部品)
- ペースト塩ビ**
壁紙、床材、自動車向けアンダーボディコート



研究開発

3つの分野で新しい価値づくりを

持続可能かつ豊かな社会の実現に向けて、化学メーカーが果たすべき役割はますます大きくなっています。東ソーはCSV※の考えの下、これまでにない新しい価値を持つ革新的な研究開発によって、SDGsを踏まえた社会課題解決型の製品創出を目指して取り組んでいます。そして、これからの社会に資する事業を強化すべく「ライフサイエンス」「電子材料」「環境・エネルギー」の3分野に注力しています。

※Creating Shared Value：共有価値の創造。社会課題の戦略的な対応が企業の長期的な成長にも寄与するという考え方。

社会課題の
解決に貢献する
技術・製品

革新的な製品・
技術の開発による
シナジー効果で
新しい価値を創出

研究開発戦略の
重点3分野

研究開発の
DX推進

オープンイノベーション
への取り組み

CO₂排出
削減

NEDO研究開発
プログラムへの参画

研究基盤の
強化

外部技術の
導入

ライフサイエンス分野

人生100年時代といわれる一方、医療における課題は多様化・複雑化しています。当社はこれまで培ってきた疾患診断・分離精製・歯科材料技術を活用し、世界中の誰もが安心して健康に暮らせる社会を目指していきます。

領域

- バイオプロセス上流工程製品（培養基材など）
- バイオプロセス下流工程製品（カラム、分離剤など）
- 新規診断・検査製品

電子材料分野

5GやAIなど技術革新による変化の激しい世の中。当社は化学で培ったノウハウを生かし、情報電子領域に欠かせない製品を供給。今後も、有機化合物・無機化合物・ポリマー設計技術、デバイス評価技術を駆使し、技術革新を支えていきます。

領域

- ディスプレイ材料
- 高速大容量通信材料
- 半導体関連材料

環境・エネルギー分野

異常気象や自然災害、大気汚染、エネルギー資源の枯渇など、日々大きくなる環境問題。その解決に向け、当社は化学メーカーとして“脱炭素”を掲げ、環境負荷低減につながる製品・技術を創出していきます。

領域

- CO₂分離回収・有効利用技術
- 廃プラスチックリサイクル技術
- 次世代電池材料

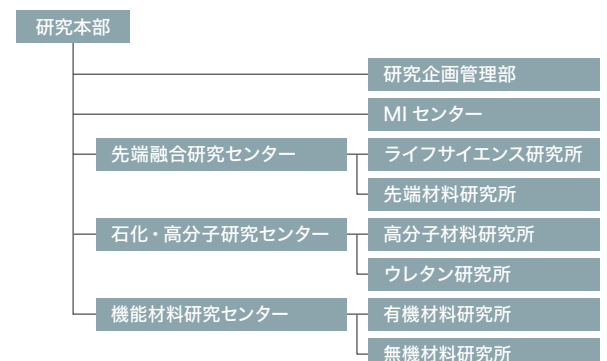
関連するSDGs



社会課題解決型の製品開発のために

研究体制においては、全研究部門を統括する研究本部の下に、3つの機能別研究センター（先端融合研究センター、石化・高分子研究センター、機能材料研究センター）と、マテリアルズ・インフォマティクス（MI）技術を活用したMIセンターを置き、社会課題解決型の製品創出に取り組んでいます。

また、研究開発を加速させ、事業部と研究所の連携を強化するために、技術分野別、機能分野別の研究開発体制も構築しています。



ライフサイエンス

計測・診断装置から歯科材料まで 幅広い技術で、世界の健康に貢献

東ソーのライフサイエンスは、病気の早期発見を促す臨床検査システム、医薬品の製造・品質管理に活用される分離精製剤やその他の解析技術を通じて、世界100カ国以上の人々の健康で豊かな生活に貢献しています。

診断分野では、各種がん、糖尿病、高脂血症、心疾患、不妊治療など検査項目は多岐にわたり、大学病院や総合病院、がんセンター、クリニックなどで使用されています。優れた検査処理能力と自動化技術により、性能面・操作面ともに世界トップクラスの製品を各国に展開しています。

社会課題と東ソーの価値創造

社会課題

- 医療ニーズの多様化
- 医療現場の負担増大
- 医療費増加による社会保障費の増大
- アンメットメディカルニーズ※
※治療法が発見されていない疾患
などへの医療ニーズ
- 医療アクセス※向上への要請
※適切な医療が受けられること

提供価値

- 解析技術を生かした新たな治療法確立への貢献
- 病気の早期発見や治療法の改善を通じた医療費の削減
- 迅速な検査実現による患者や医療現場の負担軽減
- 新技術導入による製薬・医療業界への貢献

SDGs



明日のしあわせを化学する東ソーの挑戦

創薬・再生医療の発展に貢献

均一な細胞塊を大量かつ簡便に形成

生命の最小単位となる細胞を体外で増やす細胞培養は、生物学の研究に欠かせないもの。創薬や再生医療の発展にも密接に関わってきました。当社が開発した「2.5次元培養器材®（開発品）」は細胞塊を均一、大量、簡便に形成でき、iPS細胞やがん細胞など、さまざまな細胞に適用します。そのため、ヒトiPS細胞の細胞塊から神経や心筋への分化誘導※や、がん細胞の細胞塊を用いた抗がん剤薬効試験に応用可能。創薬・再生医療への貢献が期待されています。

※培養条件の制御によって目的の細胞に変化させること



バイオ医薬品製造工程に貢献

高品質なカラム充填剤を安定供給

バイオ医薬品などの研究開発・製造時に不可欠な分離精製剤「^{トヨパール}TOYOPEARL®」。クロマトグラフィー用分離精製剤として医薬品や食品、環境といった業界で試料の前処理や精製時に使用されています。バイオ医薬品の世界市場が拡大を続ける中、当社の各種製品は分析から精製まで一貫した安定供給が可能のため、注目を集めています。今後もニーズに応え、高品質・安定供給を提供し続けます。



新型コロナウイルス、新規卵巣がんマーカーの測定に貢献

新たな診断・検査試薬の発売

当社の診断装置や試薬の開発は、各種がんや心疾患、結核など、さまざまな病気の診断・検査に活用されています。近年では、迅速・簡便・小型を特長とする当社の遺伝子検査システムを利用した新型コロナウイルスの検査試薬を発売し、検査作業の効率化、医療・検査従事者の作業負担軽減を実現しました。また免疫測定装置の専用試薬として、新規卵巣がんマーカーTFPI2の測定試薬を開発。従来品と比べて、抗がん剤が効きにくい卵巣明細胞がんに対し、特異性が高く、最適な診断や治療を提供するための一助として医療に貢献します。



代表的な製品紹介

- 自動遺伝子検査装置・試薬 | 新型コロナウイルスの検査など
- 自動グリコヘモグロビン分析計 | 糖尿病の検査
- 免疫測定装置・試薬 | ホルモン、心疾患、がんの検査など
- 高速液体クロマトグラフィー用充填カラム | 医薬の品質管理など
- 分離精製剤 | バイオ医薬品研究・製造用途
- ポリエチレン | 輸液バッグ、点眼容器
- クロロブレンゴム | 医療用手袋
- ジルコニア | 歯科材料
- エチレンアミン | 医農薬原料
- 臭素 | 医農薬の有機合成の材料
- 重曹 | 胃腸薬など

電子材料

培われた優位性、強みを生かして 社会・生活の課題解決に貢献

私たちの生活に豊かさをもたらす電子材料は、家電に限らず、電車・自動車などの運行やインターネットなど、社会インフラを支えています。それらに不可欠な半導体の製造工程において、当社も製品を通じて貢献しています。

今後も成長が期待されるディスプレイ・高速大容量通信・半導体関連などの電子材料の領域では、グループ会社や産学官連携によって新たな先端技術・評価技術を獲得し、新規電子材料の創出を目指します。

社会課題と東ソーの価値創造

社会課題

- 医療、教育・行政など生活基盤のデジタル化
- 企業活動におけるDXの推進
- 交通、インターネットなど産業インフラの発展
- 電子機器の省エネ、小型化への要請

提供価値

- デジタル社会の実現による生活の利便性向上
- DX推進による省力化、人手不足の解消
- 新規材料の開発を通じた6G、IoTなど新技術開発への貢献
- パワー半導体などエネルギー効率の優れた製品の提供

SDGs



明日のしあわせを化学する東ソーの挑戦

ウェアラブルセンサなど柔軟な製品にも応用可能に プリント技術で薄くて軽いディスプレイを実現

折りたたみ式や曲面ディスプレイがトレンドになりつつある中、次世代ディスプレイ向けに、当社は印刷可能な有機半導体を開発。薄くて軽くて大面積のディスプレイが作製可能になる上、“身に着けられる”生体センサとして需要が高まっているウェアラブル・ヘルスケア分野への応用が期待されています。汗に含まれるイオンを検出するためのシステムも構築し、ウェアラブル汗センサが実用化されれば、スポーツや医療現場のみならず、夏季の工事現場で働く人たちの体調管理、労災発生抑制への貢献につながります。



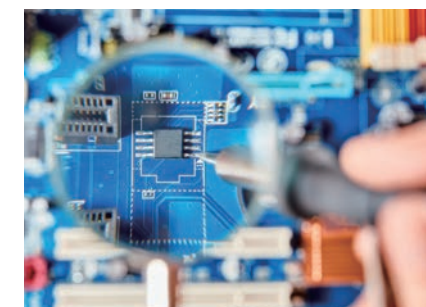
低コスト×省エネ化で社会に貢献 スパッタリング法で窒化ガリウムを成膜

大きな電流を流せるパワー半導体の普及が高まる今、当社は次世代パワー半導体材料として注目される「窒化ガリウム (GaN) スパッタリングターゲット」を開発。培ったターゲット製造技術を利用することで、高品質でありながら低コストを実現。エネルギー効率も優れ、省エネ効果を高めます。消費電力の抑制はCO₂の大幅削減にもつながり、半導体市場拡大のキーマンとして注目されています。



半導体市場の発展に貢献 高品質な石英ガラスを安定供給

高純度と耐熱性が必要とされる半導体の製造工程において、製造装置の素材として欠かせないのが「石英ガラス」。石英ガラスは高純度、高耐熱性、高光透過率を特長に持つ素材で、中でも当社の熔融石英は量産時もその純度を保つことが可能。品質優位性と供給安定性が評価され、各種装置への採用が進んでいます。さらに、レーザー核融合の分野で使われるSグレードは、熔融石英と合成石英の中間的な特性を持つ当社独自の製品で、国内外に展開しています。



代表的な製品紹介

- 石英ガラス | 半導体製造装置用素材
- 導電性高分子 | コンデンサ
- スパッタリングターゲット | 半導体・液晶ディスプレイ
- 電子輸送材・正孔輸送材 | 有機EL
- 臭素系難燃剤 | プリント基板用途

環境・エネルギー

持続可能な地球環境を守る 脱炭素社会の実現に向けた 独自製品・技術の創出

環境負荷の低減や脱炭素が注目を集める中、CO₂排出量削減に貢献する製品や、環境対応型プラスチック用改質剤などの高機能材料を製造・供給しています。特に、脱炭素・循環型社会の実現に向けた大きな動きの中で、当社も独自製品・技術の創出に取り組んでいます。CO₂分離回収や有効利用、廃プラスチックリサイクル、次世代電池材料など、産学官連携やオープンイノベーションを通じて、環境・エネルギーに資する技術革新を生み出していきます。

社会課題と東ソーの価値創造

社会課題

- CO₂排出量の削減
- 有害物質による環境汚染
- プラスチックごみ問題
- 水道インフラの老朽化

提供価値

- CO₂削減・有効利用による脱炭素への貢献
- 製品提供による環境汚染物質の排出・流出の防止
- 廃プラスチックリサイクルの技術・製品による環境問題の解決
- 長寿命な水道パイプによるライフラインの強化

SDGs



明日のしあわせを化学する東ソーの挑戦

カーボンニュートラル実現に貢献

NO_x耐性に優れたCO₂回収用アミンを開発

CO₂排出量規制が強まる中、当社は石炭や天然ガスなどの化石燃料燃焼排ガスからCO₂を分離・回収可能な高機能アミンを開発。この新アミンは窒素酸化物(NO_x)による劣化を受けにくいため、CO₂回収を高効率に。CO₂回収用アミンの長期安定使用、回収エネルギーの低減に加え、長寿命化により運用コストの低減などのメリットも。回収したCO₂においても、ポリウレタンやポリカーボネートの原料として有効利用するなど技術開発を進めており、カーボンニュートラル社会への貢献を目指します。



リサイクルの課題解決に貢献

環境対応型プラスチック用改質剤を開発

環境問題への注目により、プラスチック製品のリサイクルやバイオマス樹脂の利用が急速に進む中、多層フィルムなど複合製品のリサイクルの難しさが課題でした。そこで当社が開発したのが、異種プラスチックの相溶性をコントロールできる改質剤「メルセン®-S」。これによりリサイクル可能なフィルム用途の幅は広がり、石油由来のCO₂削減を期待できます。また、複合製品のリサイクルの実現は、廃棄物量の削減につながります。



電気自動車の普及によるCO₂排出低減に貢献

全固体電池向け材料を共同研究

エネルギー問題を考える上で、電池は極めて重要な役割を担います。中でも次世代電池の大本命として注目されているのが「全固体電池」。従来のリチウムイオン電池に対して高いエネルギー密度、充電時間の大幅短縮、電池の低コスト化が期待され、電気自動車の競争力向上が見込めます。当社でも培った電池材料技術の知見をベースに、材料革新が期待される全固体電池材料の開発に取り組み、異なる専門性を持つ研究所間で横断的に開発を進める「バッテリーオープンラボ」を社内開設。全固体電池の世界最先端機関である東京工業大学との共同研究によって開発を推進しています。



代表的な製品紹介

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| ● ハイシリカゼオライト 自動車排ガスの浄化触媒 | ● EVA 太陽電池パネル用封止材 |
| ● イオンクロマトグラフ 環境分析 | ● 石油樹脂 エコタイヤ |
| ● 高速/高温GPC装置 高分子の分子量・分子量分布測定 | ● PPS 自動車部品 |
| ● MDI 建材用断熱材 | ● 三級アミン触媒 ウレタンフォームのVOC低減 |
| ● 塩ビ樹脂 樹脂サッシ、水道パイプ | ● 重金属処理剤 飛灰・排水処理 |

東ソーのCSR

「化学の力」で人々のしあわせに貢献し、持続可能な社会の実現へ

気候変動問題や人権問題など、世界規模での社会課題への関心が高まり、課題解決に向けた企業の活動に多くの期待と関心が寄せられています。東ソーは、社会課題解決に貢献する事業活動が、社会の持続的な発展や当社グループの持続的成長につながるとの認識の下、CSR活動を経営の中核に位置付けています。

培った技術・ノウハウを駆使して創出された、社会に役立つ

製品を安定供給することが使命と考えており、原燃料の安定調達、プラントの安定操業、企業の最大の資産である人材の確保と育成に努めています。

一方、製品の製造過程での大量なエネルギー消費に伴い発生する多量なCO₂排出量の削減は、地球を守っていくための最大の重要課題として捉えており、カーボンニュートラル(脱炭素)に向けた取り組みを実施しています。

CSR活動

◆ 東ソーグループの脱炭素に向けた方針

2030年度目標
2018年度比

30%削減

2050年目標

カーボンニュートラル
への挑戦

GHG 排出量削減施策

1. 省エネルギーの推進
2. 使用エネルギーの脱炭素化
3. CO₂の回収・有効利用
4. GHG排出量削減に向けた投資

● 安全・安定操業

安全がすべてに優先する

安全に対する考えを共有するための社長と製造現場職員による対話や、DX導入を積極的に進めることで、安全文化の醸成と安全基盤の強化に真摯に取り組んでいます。

● 製品安全・品質マネジメント

顧客満足度の向上

品質管理の徹底、物流安全の確保に努め、品質マネジメントシステムを確実に運用し、品質の向上およびお客さまニーズに沿った製品・サービスをタイムリーかつ安定的に提供します。

● ダイバーシティ&インクルージョン

自立型人材※の育成

働きがいのある職場環境づくり

従業員の多様性を尊重し、成長できる環境づくりを推進することで、生産性向上やイノベーション創出につなげます。

※組織内外に限らず、いかなる環境下であっても、自ら仕事や役割を創り、周りを巻き込んで結果を出す人材

● 環境保全

事業活動に係る環境影響の最小化

法令順守の徹底はもとより、自主管理値を定めて大気・水域への排出管理を適正に実施。環境保全は地域社会との共存・調和の基盤であると認識し、活動を推進します。

T O P I C S

GHG削減に向けた取り組み

バイオマス発電

発電時に排出されるCO₂の削減が喫緊の課題とされている自家用石炭火力発電設備。当社もその課題に対応すべく、老朽化した一つを廃止し、新たにバイオマスを主燃料とした発電設備の新設を2022年7月に発表^{*}。燃料には木質系燃料に加え、建築廃材や廃棄物系燃料も利用することで、温室効果ガス排出量削減を図るとともに廃棄物の有効利用にも取り組みます。将来的にはバイオマス専焼を目指し、CO₂排出量を年間約50万トン削減。東ソーグループの温室効果ガス排出量削減目標に大きく貢献します。

※本発電所は2026年4月の発電開始を予定。



CO₂回収および原料化

2050年に向けたカーボンニュートラルへの挑戦の一環として、当社は燃焼ガスからCO₂を回収し原料化する設備を新設。当社は主力製品であるイソシアネートの原料としてナフサ由来の一酸化炭素(CO)を生産していますが、今設備ではCO設備の燃焼ガスから年間約4万トンのCO₂を回収し、COの原料として有効利用します。

さらにCO₂回収プロセスでは、当社開発品の高耐久性CO₂回収アミン液を採用。CO₂回収アミン液の外販への取り組みも推進しています。

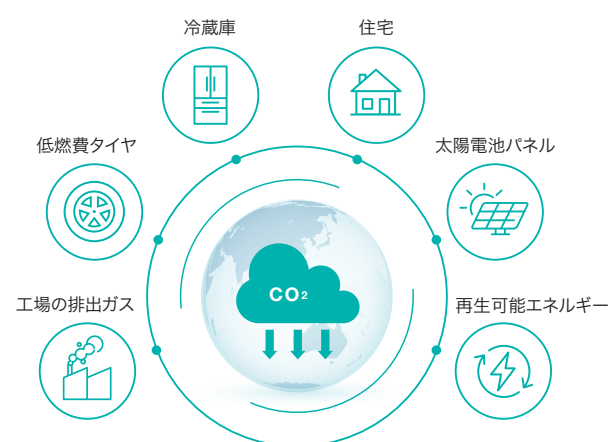


イソシアネート原料生産設備(COプラント)

製品・技術を通じた削減

生産活動に伴うGHG排出量の削減に加え、サステナブルな製品・技術の提供を通じて、ライフサイクル全体でのGHG排出量の削減に努め、社会に貢献していきます。例えば、MDI。ウレタン発泡材の主原料として建材や冷蔵庫の断熱材に使用されており、冷暖房効率を高め、省エネに貢献しています。

他にも、太陽電池パネルに使用されるEVA、低燃費タイヤに使用される石油樹脂、省エネ窓サッシに使用される塩ビ樹脂など、多くの製品が生活の中のGHG削減に貢献しています。



グローバルネットワーク 世界に広がる東ソーグループ

東ソーグループは、世界中のネットワークを生かし、
各拠点が連携しながら、製品を世界中に販売・供給しています。

- クロル・アルカリ
- 機能商品
- 商社など

海外拠点数

19カ国 約50拠点

Europe

Asia

Americas

East

South East

台湾

韓国

- | | |
|------|-----------------------------------|
| オランダ | ● Delamine B.V. |
| | ● Tosoh Europe B.V. |
| ベルギー | ● Tosoh Europe N.V. |
| ドイツ | ● Tosoh Bioscience GmbH |
| イギリス | ● Tosoh Bioscience Ltd. |
| イタリア | ● Tosoh Bioscience S.r.l. |
| スイス | ● Tosoh Bioscience S.A. |
| ギリシャ | ● Tosoh Hellas Single Member S.A. |



Tosoh Europe N.V. (ベルギー)
臨床検査試薬などの販売

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| フィリピン | ● Philippine Resins Industries, Inc. |
| | ● Tosoh Polyvin Corporation |
| | ● Mabuhay Vinyl Corporation |
| インドネシア | ● PT. Standard Toyo Polymer |
| マレーシア | ● Tosoh Advanced Materials Sdn. Bhd. |
| シンガポール | ● Tosoh Asia Pte. Ltd. |
| インド | ● Tosoh India Pvt. Ltd. |



Tosoh Advanced Materials Sdn. Bhd. (マレーシア)
合成ゼオライトの製造

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 中国 | ● 東曹(瑞安)ポリウレタン有限公司 |
| | ● 東曹(上海)ポリウレタン有限公司 |
| | ● 東曹(広州)化工有限公司 |
| | ● 東曹(上海)生物科技有限公司 |
| | ● 東曹(上海)電子材料有限公司 |
| | ● 東曹(中国)投資有限公司 |
| | ● 東曹(上海)貿易有限公司 |
| | ● Tosoh Quartz Co., Ltd. |
| | ● Tosoh SMD Taiwan, Ltd. |
| | ● Tosoh Quartz Korea Co., Ltd. |
| | ● Tosoh SMD Korea, Ltd. |
| | ● Tosoh Namhae Silica Corporation |



東曹(瑞安)ポリウレタン有限公司(中国)
MDI中間原料の分離精製およびMDI製品の販売

- | | |
|------|---------------------------------------|
| アメリカ | ● Tosoh Specialty Chemicals USA, Inc. |
| | ● Tosoh Bioscience, Inc. |
| | ● Tosoh Bioscience LLC |
| | ● Tosoh Quartz, Inc. |
| | ● Tosoh SMD, Inc. |
| | ● Tosoh America, Inc. |
| | ● Tosoh USA, Inc. |



Tosoh SMD, Inc. (米国)
スパッタリングターゲットの製造・販売